

病床機能報告の状況

資料1-1

1. 益田圏域全体の年度別推移

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	総数
平成30年度	40	396	166	196	49	847
令和元年度	40	346	196	196	0	778
令和2年度	40	346	150	152	26	714
令和3年度【暫定】	40	346	153	152	0	691
2025年必要病床数	47	214	179	173		613

2. 令和2年度の内訳

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	総数
益田日赤	40	236	0	0	0	276
医師会病院	0	60	101	92	26	279
津和野共存病院	0	0	49	0	0	49
六日市病院	0	50	0	60	0	110
圏域全体	40	346	150	152	26	714

3. 令和3年度【暫定】の内訳

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	総数
益田日赤	40	236	0	0	0	276
医師会病院	0	60	104	89	0	253
津和野共存病院	0	0	49	0	0	49
六日市病院	0	50	0	60	0	110
圏域全体	40	346	153	149	0	688

出典) 病床機能報告

医療機能の名称	医療機能の内容
高度急性期機能	急性期の患者に対して、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能。(救命救急など)
急性期機能	状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能。病気になるに始めた頃で、症状が現れる段階。症状によっては検査や処置、手術などが必要になる。
回復期機能	急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能。急性期治療を受け、病状が安定しはじめた発症・術後1～2ヶ月後の状態。
慢性期機能	長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能。病状が比較的安定している時期。病気の再発予防や体力の維持を目指し、長期にわたる治療を続ける場合が多い。

益田圏域の慢性期患者の受け皿

施設系サービス	令和3年度
介護老人福祉施設	440
介護老人保健施設	265
介護医療院	44
介護療養型医療施設	0
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	98

合計 847